

部 局	環境部	補 職	部 長	氏 名	環境部長
-----	-----	-----	-----	-----	------

1. 部局の使命

低炭素社会、循環型社会及び都市における自然との共生をめざした社会を実現するため、市民・事業者等の連携と役割分担を明らかにして、本市においての安全で快適な都市環境づくりを推進する総合的な仕組みを構築し、将来の世代に環境にやさしく快適な暮らしを引き継いでいく。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>低炭素社会、循環型社会及び都市における自然との共生をめざした社会を実現するためには、市民・事業者・NPO法人・行政との協働により進めることが不可欠であり、また、行政内部においても、部内はもとより庁内関係部局と情報を共有し連携することが求められており、これらを当部の基本姿勢として業務を遂行するとともに、第3次環境基本計画に基づき、望ましい環境像の実現をめざします。</p> <p>○低炭素社会づくりについては、省資源・省エネルギーを通じた低炭素社会の実現に向けて、家庭や事業所、市有施設などにおいて省エネルギーを推進するとともに、エネルギーを消費しても二酸化炭素を発生しない再生可能エネルギー等の導入を進めます。また、交通・まちづくり等に関連する分野と連携して省エネルギー・低炭素社会に向けた環境配慮を進めます。</p> <p>○都市における自然との共生をめざした社会づくりについては、緑地や水辺などそれぞれの特性に応じた保全を図り、都市化が進んでいる本市にふさわしい形で都市における自然と共生した地域づくりに努めるとともに、生物多様性に配慮した自然の回復・創出に取り組みます。</p> <p>○循環型社会づくりについては、市民・事業者・行政・NPO法人等による多面的な取組を一層促進するため、3R（発生抑制・再使用・再生利用）行動を通じた資源循環の推進や、廃棄物の減量に向けた施策の拡充を進めます。</p>	<p>○令和元年度（2019年度）から「第3次環境基本計画」で掲げた施策がスタートしており、環境分野の個別計画において目標達成に向けた事業が推進されています。</p> <p>また、「第3次環境基本計画」の特長である環境目標1「よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む」を進行管理するため、「協働の取り組みに関する意見交換会」を開催し、協働の取り組み状況を確認したうえで環境審議会から評価をいただきました。</p> <p>○低炭素社会を実現に向けて、市民・事業者・NPO法人・行政が協働して「第2次地球温暖化防止地域計画」を推進しました。</p> <p>○都市におけるみどりの育成として、南部地域の緑化を推進する方策について検討を進めるとともに、市内の花とみどりの魅力を伝える「花とみどりの名所マップ」の作成に向け検討を行いました。また、春日町ヒメボタル特別緑地保全地区において竹林などの適正な管理と啓発としての学習会・観察会を実施するとともに、ふれあい緑地1街区（ビオトープ）の新たな利活用に向けた検証を行うための取り組みを行いました。</p> <p>○ごみの減量と3Rの推進に向けた取り組みとして、「とよなか環境TV」を開設し、環境に関する情報の効果的な配信や、可燃ごみに多く含まれている食品ごみの削減に向け、フードドライブを地域や事業者と協働で取り組みました。また、環境学習の実施や子ども服・家具類等のリユース、使用済小型家電等の回収拠点の増設や再生資源集団回収の新規登録団体を獲得するなどの取り組みを行いました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>環境基本計画の推進</p> <p>○第3次環境基本計画に示す環境目標の達成に向け、「持続可能な低炭素社会づくり」や「廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり」「都市における自然との共生をめざした社会づくり」など5つの取組み項目を進めることで、望ましい環境都市像の実現をめざします。 *「協働の取組みに関する意見交換会」：8月開催 *PDCAサイクルの見直し：2月～3月実績等公表</p>	<p>○第3次環境基本計画の進行管理を1年サイクルとする仕組みを確立しました。また、計画に掲げる環境目標の達成に向け、分野別計画等の進捗状況を把握するとともに環境目標の達成状況について、要因分析を行いました。</p> <p>○第3次環境基本計画の環境目標1「よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む」の進捗状況を把握するため、8月に「学校における多様な主体による環境学習」をテーマに協働の取組みに関する意見交換会を開催しました。○計画の達成状況及び要因分析、環境審議会評価を「とよなかの環境（中間報告）」として11月に公表しました。</p> <p>○市民等や環境審議会からの意見をもとに、次年度に向けた市の考え方を示した環境報告書「とよなかの環境～2018年度評価と今後に向けて～」を3月に公表しました。</p>	<p>○第3次環境基本計画を推進するため、確立した進行管理を円滑に進めます。</p> <p>○環境基本計画の評価指標「生物多様性の認知度（%）」のデータが取れていないことから、環境部に関わる市民アンケート調査の実施を検討します。</p> <p>○「生物多様性」をテーマに「協働の取組みに関する意見交換会」の開催に向けて、コーディネーターや関係団体などとの調整を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>低炭素社会の実現に向けた省エネ・創エネの推進</p> <p>○地球温暖化対策への関心を高め、環境活動のすそ野を広げます。 *「クールチョイス※1普及啓発事業」：7月～1月実施</p> <p>○家庭における再生可能エネルギーの利用などを促進します。 *住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助事業、家庭用燃料電池システム設置補助事業、住宅の窓断熱リフォーム支援事業及びネット・ゼロ・エネルギー・ハウス※2（ZEH）普及促進補助事業の継続実施</p> <p>○第4次地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所の事務・事業から排出する温室効果ガス排出量の削減を促進します。</p> <p>○平成32年度（2020年度）の電力調達に係る入札から適用できるよう、環境の視点から電力の調達に関する方針を作成します。：8月策定、庁内周知</p> <p>※1 温室効果ガス削減のために国が主導する運動。暮らしを快適にするとともに環境にも優しい「賢い選択」のこと。</p> <p>※2 住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅。</p>	<p>○4月に行った「COOL CHOICE宣言」に基づき、クールチョイス普及啓発事業を実施しました。</p> <p>①家電の買い替え等を促すリーフレットの配布</p> <p>②省エネに関する動画をYouTubeで発信（大阪大学環境サークルGECSと協働作成）</p> <p>③公共交通機関の利用促進のポスターの掲示</p> <p>④地球温暖化対策を学ぶリーフレットの配付（対象：市内の全小学5年生）</p> <p>⑤各種イベントでの周知ブース出展など</p> <p>○住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助事業等補助事業の実施により、家庭における再生可能エネルギーの利用などを促進しました。</p> <p>○環境推進員作業部会の開催、地球温暖化対策通信の発行等により、市役所の事務・事業から排出する温室効果ガス排出量の削減を促進しました。</p> <p>○「豊中市電力の調達に関する環境配慮方針」を令和元年（2019年）10月に策定し、環境負荷の低い電力事業者を選定しました。</p>	<p>○クールチョイス普及啓発事業は、事業内容の精査を行い、より効果的な取組み内容や周知ツールを検討し、実施します。</p> <p>○家庭における再生可能エネルギー等の利用を促進するため、住宅の窓断熱リフォーム支援事業を拡充するとともに、府が実施する蓄電池の普及促進を図ります。</p> <p>○電力調達に関する環境配慮方針については、事業者選定基準を見直し公表します。また、再生可能エネルギーの導入率の高い電力事業者との契約が市民にも普及するよう、斡旋事業を検討します。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-2-① 低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます。</p>		
<p>基本政策</p> <p>42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>魅力ある公園づくりの推進</p> <p>○施設の老朽化や管理コストの増加、市民ニーズの多様化などの課題を抱える千里中央公園において、施設や管理運営の在り方を明確にするるとともに、公民連携の可能性なども検討しながら再整備に向けた取組みを進めます。 *千里中央公園再整備基本計画の策定：12月下旬 素案作成、1月～意見公募、2月下旬 策定 ○千里中央公園以外の大規模な公園では公民連携の可能性を検証するとともに、小規模な公園では小学校区単位で地域団体等との連携による特色ある公園づくりに取り組みます。 *大規模公園における利活用に向けた実証実験の実施：7月～12月 *小規模公園における特色ある公園づくりに向けた実施マニュアルの作成：10月～12月 ○関係部局と連携し、防災公園としての機能拡充に向けた取組みを進めます。 *防災公園のあり方・整備目標の作成：4月～9月</p>	<p>○千里中央公園 *「元気×公園」(アクティブに楽しむ公園)をコンセプトに今後の整備や運営に民間活力の導入により「くつろぎ」「遊び」「活気」の視点で整備する千里中央公園再整備基本計画を策定しました。 ○大規模公園・小規模公園 *大規模公園における利活用については、平成31年(2019年)1月に実施したサウンディング調査の結果からふれあい緑地での民間事業者による飲食店舗の設置にかかる公募の準備を進めました。 *小規模公園における特色ある公園づくりについては、モデル地区として新千里北町と協議を進め、公園の新たな利用を考えるイベントの実施を決定し、小規模公園のあり方の検討を共に進める合意をしました。 ○防災公園 *防災公園として、整備されている野田中央公園のある南部以外の北部及び中部において、災害時用トイレ、備蓄倉庫、ソーラー照明等、防災の機能を有した公園の整備を行うこととし、北部は野畑南公園、中部はふれあい緑地を、整備対象としました。</p>	<p>○千里中央公園 *千里中央公園再整備基本計画に基づき、令和2年度(2020年度)に整備や運営にかかる事業者の公募を実施します。 ○大規模公園・小規模公園 *令和2年度(2020年度)にふれあい緑地での民間事業者による飲食店舗の設置にかかる公募を実施し、年度内に運営を開始します。 *小規模公園のあり方の検討を進めることへの地域との合意形成に一定の時間を要したことから、地域にアプローチするためのモデルプランを作成します。 ○防災公園 *起債(緊急防災・減災事業債)の条件を満たすため、令和2年度(2020年度)中に工事を完了させる必要があり、令和元年度(2019年度)の第4四半期から令和2年度(2020年度)上半期にかけて設計業務を行い、その後令和2年度(2020年度)の下半期で整備工事を行う予定としています。今後は、3公園の運用実績を踏まえ、防災公園の増設、機能の拡充等を危機管理課と連携して検討することとします。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。</p>		
	<p>基本政策</p>		
	17 魅力ある公園づくりの推進(千里中央公園再整備など)	28	防災公園・公開空地の拡充

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>都市緑化の推進と公園の適正管理</p> <p>○さらなる都市緑化を推進するため住宅地における緑化に取り組むとともに、自然環境保全のための学習や啓発に取り組みます。 *緑化樹配付事業のあり方の検討：4月～9月 *花とみどりの名所マップづくりの実施 *春日町ヒメボタル特別緑地保全地区などを活用した学習会・観察会の実施：5月</p> <p>○誰もが都市公園を安全で安心して利用できるよう、公園施設の改築・更新に取り組みます。 *公園施設長寿命化計画に基づく老朽化した遊戯施設の更新：10月～2月施工 *公園施設のバリアフリー化 *コンクリートブロック塀のフェンスなどへの更新</p> <p>○公園の健全な植生環境の構築と適正な安全管理に取り組みます。 *公園の危険木調査の実施及び危険木等の撤去・更新（～平成33年度(2021年度)） *樹木管理方針の策定：4月～10月 検討・策定</p>	<p>○緑化推進 *緑化重点地区である南部地域の緑化を推進するため、個人向けの緑化樹配付事業の新たな仕組みについて検討しました。 *花とみどりの名所マップづくりについて、令和2年度（2020年度）からの実施に向けた検討を行いました。</p> <p>○自然環境保全の学習・啓発 *ヒメボタル学習会・観察会へは、222人の参加があり、ヒメボタルの発光数も7,034匹と過去最大の数値でした。また、特別緑地保全地区において、市民参加による幼虫調査を試行実施しました。 *ふれあい緑地1街区（ビオトープ）における調査及び自然環境啓発業務委託を令和元年度（2019年度）から2カ年で締結し、新たな利活用に向けた検証を行うための取組みを、実施しました。</p> <p>○大黒町南公園など5公園で遊戯施設の更新、千里園公園など3公園でバリアフリー化、玉井町2丁目第2公園など4公園でコンクリートブロック塀をフェンスに更新しました。</p> <p>○58公園、1,344本の樹木の簡易調査を実施し、危険木等の状況を把握し、公園樹木維持管理方針を策定しました。</p>	<p>○緑化推進 *引き続き南部地域の緑化の推進に効果的な施策の検討を進めます。 *花とみどりの名所マップを、緑化活動団体などの市民のみなさんとともに作成します。</p> <p>○自然環境保全の学習・啓発 *市民との協働によるヒメボタルの保全活動を継続するとともに、高齢化が進む団体の活性化や新たな保全手法の検討を進めます。 *令和3年度（2021年度）以降のふれあい緑地1街区の有効的な活用方法について、現在実施しているワークショップや委託業務の報告内容などを基に方針を定めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>協働による循環型社会の構築</p> <p>○第4次一般廃棄物処理基本計画等に基づき、可燃ごみの約8割を占める食品ごみ、紙類の削減に向けた施策を推進します。 *ソーシャルメディアを活用した効果的な情報発信：10月～順次</p> <p>○家庭から排出されるごみの組成を把握し、同計画を見直しする基礎資料を作成します。 *「家庭系ごみ排出実態調査」の実施：11月</p> <p>○伊丹市と豊中市伊丹市クリーンランドの三者で連携し、事業系一般廃棄物の減量と適正処理を図ります。 *事業系一般廃棄物搬入物検査の充実：4月～3月</p> <p>○中小規模事業者の再生資源回収システムへの協力事業者の拡充を図ります。 *事業系再生資源回収システムの協力事業者への協力依頼・調整：4月～3月</p> <p>○し尿等の安定的な処理に向け、伊丹市と豊中市伊丹市クリーンランドとの三者で、一部事務組合による伊丹市との共同処理の実施について検討を進めます。 *し尿等の安定的な処理について協議：4月～3月</p>	<p>○「一般廃棄物処理基本計画」等に基づき、食品ロス削減に向け、フードドライブを地域や事業者との協働で実施し、1,296.6kgの食品を豊中市社会福祉協議会を通じて子ども食堂などで活用していただきました。また環境に関する動画（Youtube）を15作品配信し、約13,000回の総視聴回数を得ました。○家庭系ごみ排出実態調査を11月に実施しました。○搬入物検査のランダムな実施により、前年度から約800トン（2月末現在）の事業系一般廃棄物が削減できました。○再生資源回収システムへ新たに2団体の協力を得て、約32トン（1月末現在）が再生資源としてリサイクルされました。○し尿等の安定的な処理に向け、伊丹市との共同処理を行うにあたり、し尿処理施設の建設場所の比較や規模等を定める基本構想策定に向けての準備を進めました。</p>	<p>○食品ごみ、紙類の削減に向け、引き続き家庭ごみ事業課、事業ごみ指導課と連携しながらごみ減量施策を進めていきます。また、「家庭系ごみ排出実態調査」を実施したところ、前回の平成24年度(2012年度)と比較すると、紙類は減少していましたが、手をつけずにそのまま廃棄された食品やプラスチック類の割合が増加していたため、食品ロス削減に向け、フードドライブを新たな事業者と協働して実施するとともに、ソーシャルメディアを活用した、効果的な情報発信を行います。○昨年度実施した「家庭系ごみ排出実態調査」に続き、今年度は「事業系ごみ排出実態調査」を実施し、令和4年度(2022年度)の一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに向けた基礎資料とします。○ごみ処理施設における搬入物検査を充実させるとともに、一般廃棄物収集運搬業許可業者と連携し一般廃棄物排出事業者の適正処理を図ります。○中小規模事業者の再生資源を効果的に回収するシステムへの協力事業者の拡充を図ります。○し尿等の安定的な処理に向けてし尿処理施設に係る基本構想を策定し、豊中市伊丹市クリーンランドによる伊丹市との共同処理に向けた取組みを進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>路上喫煙防止の推進</p> <p>○喫煙マナー向上を図るため啓発・PR活動を実施します。 *路上喫煙禁止区域に指定している駅を中心に市内11駅で啓発・PR活動を実施：4月～3月</p> <p>○大阪府子どもの受動喫煙防止条例・大阪府受動喫煙防止条例を踏まえた包括的たばこ健康施策について関係部局と調整を行います。 *包括的たばこ健康施策について関係部局との調整：4月～3月 *こども園等に受動喫煙防止、ポイ捨て禁止を周知するための横断幕を設置：4月～3月</p>	<p>○関係部局と市内11駅の駅周辺で、喫煙マナー向上PR活動を実施しました。また、喫煙に関する苦情・要望等が寄せられた駅周辺においても関係部局と連携し随時啓発活動を実施しました。</p> <p>○「路上喫煙の防止に関する条例推進会議」及び「(仮称)豊中市健康安全のためのたばこ対策の推進に関する条例についての会議」において、関係部局との調整を図りました。また、新たな路上喫煙禁止区域の指定に向け、大阪空港駅を除く8駅周辺での通行量及び喫煙率調査を実施しました。</p> <p>○公立こども園26園に横断幕を設置しました。</p>	<p>○令和3年度(2021年度)に新たに8駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定するにあたり、各駅周辺で指定範囲などの調査を実施します。また、関係部局と連携を図りながら周知・啓発を実施します。</p> <p>○私立幼稚園については、令和2年度(2020年度)設置に向けて調整中です。</p>
	<p>総合計画</p> <p>3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>32 健康施策の推進(食育の推進、健康マイレージ事業の実施、健診センターの設置など)</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>第3次環境基本計画の推進</p> <p>○第3次環境基本計画に示す環境目標の達成に向け、「持続可能な低炭素社会づくり」や「廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり」「都市における自然との共生をめざした社会づくり」など5つの取組み項目を進めることで、望ましい環境都市像の実現をめざします。</p>	<p>*第3次環境基本計画 毎年度 実績等公表 平成32年度(2020年度)～新環境報告書の発行</p>
	総合計画	
	3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。	
	基本政策	
	42 環境施策の推進(第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など)	
2	<p>低炭素社会の実現に向けた省エネ・創エネの推進</p> <p>○第2次地球温暖化防止地域計画及び第4次地球温暖化対策実行計画の温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向け、計画に掲げる取組事項を着実に進めます。</p>	<p>*継続して実施</p>
	総合計画	
	3-2-① 低炭素社会の実現に向けた取組みを進めます。	
	基本政策	
	42 環境施策の推進(第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など)	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
3	魅力ある公園づくりの推進 ○公園の魅力向上のため、千里中央公園などの大規模な公園では公民連携の可能性も検討しながら活性化を図り、小規模な公園では小学校区単位で地域団体等との連携により特色ある公園づくりを進めます。また、防災公園としての機能拡充に向け関係部局と連携し取組みを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> * 千里中央公園 平成31年度 (2019年度) 基本計画策定 平成32年度 (2020年度) 事業者公募 平成33年度 (2021年度) 再整備 * 大規模公園 平成31年度 (2019年度) 実証実験 平成32年度 (2020年度) 事業スキーム検討 * 小規模公園 平成31年度 (2019年度) 実施マニュアル作成 平成32年度 (2020年度) 再整備 * 防災公園 平成31年度 (2019年度) 方針検討 平成32年度 (2020年度) 実施設計 平成33年度 (2021年度) 整備 	
	総合計画		
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。		
	基本政策		
	17 魅力ある公園づくりの推進 (千里中央公園再整備など)	28 防災公園・公開空地の拡充	
4	都市緑化の推進と公園の適正管理 ○平成30年度(2018年度)から運用を開始した第2次みどりの基本計画に基づいた施策を推進するとともに、PDCAサイクルを用いた進行管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> * 継続して実施 * 緑被量調査 平成33年度 (2021年度) 実施 * 中間総括 平成34年度 (2022年度) 実施 	
	総合計画		
	3-1-② 自然環境や都市のみどりを身近に感じられる快適な環境づくりを進めます。		
	基本政策		
	42 環境施策の推進 (第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など)		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>協働による循環型社会の構築</p> <p>○第4次一般廃棄物処理基本計画に基づき、食品ロス等削減に向けた施策を市民・事業者と協働して推進します。また、計画の中間目標年度である平成34年度（2022年度）に、計画の進捗状況等に応じてごみ減量施策を見直します。</p> <p>○し尿等の安定的な処理に向け、伊丹市と豊中市伊丹市クリーンランドとの三者で、一部事務組合による伊丹市との共同処理の実施について検討を進めます。</p>	<p>*食品ごみ、紙ごみの削減継続して実施</p> <p>*中間見直し 平成33年度（2021年度）～平成34年度（2022年度）実施</p> <p>*し尿等の安定的な処理継続して協議</p>
総合計画		
3-2-② 循環型社会の構築に向けた取組みを進めます。		
基本政策		
42 環境施策の推進（第3次環境基本計画の推進、豊中アジェンダ21の策定支援など）		
6	<p>路上喫煙防止の推進</p> <p>○路上喫煙に関する受動喫煙等の様々な課題の解決を図るとともに、「包括的たばこ健康施策」を実効性あるものとするため、関係部局と連携して取組みを進めます。</p>	<p>*関係部局との取組み 平成31年度（2019年度）順次実施</p>
総合計画		
3-1-① 環境政策を推進するための総合的なしくみづくりを進めます。		
基本政策		
32 健康施策の推進（食育の推進、健康マイレージ事業の実施、健診センターの設置など）		